

女子短期大学 Women's Junior College**歩んでいこう**

古田 しおん 女子短期大学専攻科子ども学専攻

「青短最後の学生」と言われた生活も終わりに近づき、皆が新しい地へ向かって行こうとする今、青短という学びの場もファイナルステージを迎えようとしています。

多くの学生が通ったキャンパスも今年度は40数名になっていました。校舎がガラんとすると思いきや、大学に行く度いつも誰かの笑い声が聞こえ、先生や副手さんが私たちが気にかけて、暖かく迎えてくれました。心地よく暖かい私のホームだと何度も思われました。

だからこそ、「ただいま」と帰れる場所がなくなることは寂しく、不安も感じます。けれど、ここで学んできたかけがえのない日々の積み重ねは私たちの心の中で生き続けます。「あなたが何を考えてきたか それがいまのあなたそのもの」(谷川俊太郎「こころの色」、『すこやかに おだやかに しなやかに』佼成出版社、2006年)。私たちが学び得てきたものはこの先も輝き続けることでしょう。

さあ「地の塩、世の光」として、それぞれが遣わされる場で、賜物を活かし歩んでいこう。感謝を胸に、そう思います。

「始まりの旅」への祈り横堀 昌子 元・女子短期大学子ども学科教授
(現・大学コミュニティ人間科学部 教授)

巣立ちの春を心よりお祝いします。青短の学生募集停止を知りながら入学された皆さん。「間に合ってよかった」とも聞きました。この時期だからこそ、学生・教職員がより近しく語り、創り出せた営みのすべてを誇りに思い、深く感謝します。

人が育ちゆくことや紡ぎあう暮らしの奥深さに出会い、人間社会を探究する。新しい文化を他者とともにしなやかに創造する。心を動かし育んだ日々は何と豊かに彩られたことでしょう。「わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように」(フィリピの信徒への手紙1章9-10節)。私たちに未来から寄せられる期待が香り立ちます。ここまで元気よく駆け抜け、世界で活躍する6万人を超える青短卒業生の輪に加わる皆さん。つながりはすでに在り、一人ひとりが「青短」です。だから大丈夫。翼の力を確かめ、行ってらっしゃい！いかなるときも顔を上げ、新しい可能性に満ちた「始まりの旅」に。



総合科目 子ども(紙コップのワークショップ)



美術特別演習(クリスマスリース制作)